

# ビートルズの故郷、 英国リバプールを訪ねて～前編～

スリーグレース(三女神)と呼ばれるゴージャスで美しい建物とカラフルにラッピングされた2階建バス(※写真はすべて筆者撮影)

一般社団法人 PDIC キャリア代表理事 杉山 明

20世紀にデビューして今世紀に入って今もなお、世界中の人々に愛されているロックバンド The Beatles。

ポピュラー・ミュージック史上、最大にして最高の音楽グループであることは誰もが認めるところです。

性別も年齢も、人種や民族も超えて、世界が共有する「教養」の一部だという人もいるくらい、私たちの生活文化に影響を及ぼしているといわれる彼らの原点はどこにあるのだろうか。私は7年程前、そんなビートルズのルーツを辿るべく、彼らの生まれ故郷、英国の港町リバプールを一人で旅しました。

彼らがプロデビューした1962年は奇しくも私が生まれた年です。1970年4月に彼らは解散するのですが、愛知県の片田舎で育った私が、彼らの楽曲に初めて触れることになるのは、中学生になって間もない13歳のときでした。その後40年もの時が流れ50歳を過ぎた頃、私は、当時の彼らと同じ仕様のビンテージギターを中古で購入し、メンバーを募って衣装を揃えトリビュートバンドを結成。恥ずかしながら人前で披露してしまうほどのファンです。

最近ファンになった若者も増えていると聞きますが、私と同じように壮年期に至ってもなお、彼らを慕って止まない人々は、世界中にたくさんいます。リバプールという街は、観光資源でもあるビートルズのおかげで、英国有数の観光スポットになっていることは間違いありません。

彼らがこの街でどのように過ごし、人生を歩み始めたのか、ゆかりの場所を巡り、バンドの秘話やエピソードを発見したいと思い、旅の計画を立てました。ここでは、私の想いも添えて、ファン必見の名所を紹介したいと思います。



マッシュー通りのビートルズグッズショップ看板上の銅像



ストロベリーフィールズ入口の門

## ①ストロベリー・フィールズ Strawberry Fields

楽曲♪『ストロベリー・フィールズ・フォーエバー』のストロベリー・フィールズとは、当時、ジョン・レノンが子供時代を過ごしたミミ伯母夫妻の家の近所にあった養護施設のこと

です。明るい赤色の塗装が施された門と色鮮やかな表札が当時とても印象的でした。門を囲む鬱蒼とした木々が、歌詞の中に何度も登場するフレーズ Nothing is real (訳：現実離れしている)を象徴しているかのようです。

